

京大病院基金へのご支援のお願い

京都大学医学部附属病院は、1899年（明治32年）に設立されて以降、多くの人材を輩出し、わが国の医学・医療の発展に貢献してまいりました。現在も京大病院は、以下の「診療、研究、教育」に関する3つの理念をもとに病院運営を行い、地域における中核的役割や国際社会への貢献を目指しています。

《基本理念》

1. 患者中心の開かれた病院として、安全で質の高い医療を提供する。
2. 新しい医療の開発と実践を通して、社会に貢献する。
3. 専門家としての責任と使命を自覚し、人間性豊かな医療人を育成する。

診療においては、最先端医療機器の導入など高度医療を推進することで、安全で質の高い医療を提供することを目指しています。研究においては、これまでに治すことができなかつた病気を治すための新しい医療の研究・開発、iPS細胞研究所等の学内の関係部局との連携による臨床研究の推進など、常に新しい医療に取り組むことを目指しています。教育においては、医療の専門家としての高度の技量を有し、チームで医療ができる、そして世界で活躍できるような広い視野を持った優れた医療人の育成を目指しています。また、京大病院では患者さんへのさらなるサービス向上にも積極的に取り組んでいます。

このように、京大病院は診療・研究・教育のバランスを図りつつ、地域における中核的役割や国際社会への貢献をするため日々効率的な病院運営に努めていますが、国からの運営費交付金が縮減の一途をたどるなど、病院経営は非常に厳しい環境下にあり、院内努力だけで捻出できる運営資金のみでは、十分な活動は望めない状況になりつつあります。

そこで、このような困難な状況を打開すべく、皆様からの支援を広く求めるため、このたび「京大病院基金」を設置しました。今後も患者さん一人ひとりに安全で質の高い医療を提供し、また、高度な機能を有する病院として社会の期待にこたえるため、いただきましたご寄附は、さらなる患者さんへのサービスを充実させる取組のほか、医師、看護師等医療スタッフの育成・支援、並びに病院運営や教育研究に必要な経費に活用させていただきます。

皆様方には、この趣旨をご理解の上、格段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年11月5日

京都大学医学部附属病院長 稲垣 暢也